【管理番号０４５】

平成２８年度　明石市地域自立支援協議会
くらし部会　リポート　Vol. １６

平成２８年１１月４日

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局（明石市基幹相談支援センター）
住所：明石市貴崎１丁目５番 13 号（明石市立総合福祉センター１階）
電話番号：078－924－9155　　ファクシミリ：078－924－9134

【意見投稿用アドレス】　akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp
会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

早いもので、今年もあと２カ月となりました。

くらし部会ワーキング⑤「ヘルパーのつどい」では、昨年度に引き続き、「介護技術リスクマネジメント研修 ～現場で活かせる研修～」を企画、今年度の第１回目として、「基礎から学ぶ負担の少ない『移乗介助の方法』と『福祉用具の活用法』」を開催し、１１事業所３４名の方が参加され、大変盛り上がりました。

この研修は、現場で働くヘルパーが講師となり、受講者側のヘルパーと意見交換を交えながら行っています。今回は、博由園居宅のサービス提供責任者である、豆崎宣仁さんに講師をお願いし、ボディメカニクスの講義の後、実技演習を行いました。普段はヘルパーとして介助する側のみなさまが、改めて基礎を学び、介助される側を経験することで、‘利用者の気持ち’を想像すること、そして日ごろの自分の介助方法を見直し、より良い介助に繋げていくきっかけとなる時間になったと思います。講師の豆崎さんは、資料の準備から大変熱心に取り組んでくださり、当日は堂々とした講師ぶりでしたが、当日を迎えるまで、うまくできるか不安だったそうです。そんな豆崎さんから、後日感想を伺いましたので、記載させていただきます。

ご参加いただいた各事業所のヘルパーさん方が真剣に話を聞いて下さり、また実技演習では積極的な参加と参加者同士で意見を述べ合う様子が伺えました。

講義でも述べた様に、私は介護に正解は無いと思っております。BEST を決めるのではなく、常に BETTER を求め考察・検討・研究していくことが大切であると感じます。今回ご参加下さった方々には、その様な姿勢を感じることが出来ました。一つの介護方法に対し自身の経験を述べたり、自身の技術を実演したりと「より良い」を求め、討論が始まるのです。スキル UP を目指す状況下でとても素晴らしい光景でした。

研修を通し私自身も勉強することができ、又、初心にかえり様々なことを再認識させてもらえた場となりました。

お集まり下さった皆様に感謝致します。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ 研修の様子 ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆